感染症の歴史と野口英世の足跡をたずねて

お話と朗読

今から約100年前、未知の感染症に真正面から真剣に向き合った日本人を知っていますか？彼の名前は野口英世
彼の功績は世代を超えて今この時、私たちに語りかけています。
今の制限ある生活だからこそ聞きたい！知りたい！感じたい！

朗読

母「シカ」が息子の野口英世に宛てた手紙

橘　有美氏
（フリーアナウンサー、朗読「たちばな」主催、「紅くれない」指導）

野口の母「シカ」がアメリカにいる息子に宛てた たどたどしい手紙とそれに同封の年老いてきた母の姿写真 が残っています。その手紙の朗読を通していつの世も変わらぬ母の思いに迫ります。

お話

世界史を変えた感染症と今後

林　俊治　氏
（北里大学医学部教授 微生物学）

人類を脅かしている感染症は今回に限らず世界史を大きく変えた例がいくつもあること、また今後どう付き合うかなどを、切手の例なども交えて、わかりやすくお話しする。

感染症学者「野口英世」の横浜金沢での活躍と英世の母

中村　澄夫　氏
（神奈川歯科大学名誉教授 生物学）

野口英世は、長浜検疫所（金沢区長浜）で医官補として短期間でしたが活躍し、その後世界へとはばたき、感染症学者として名を成しました。長浜時代の野口と帰国前後の母の姿を紹介する。

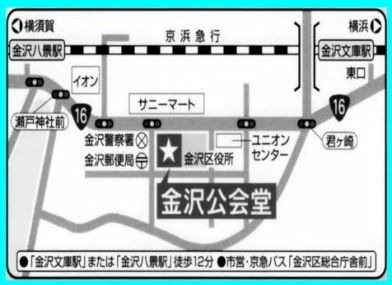
野口英世 お話と朗読

開催期間 2022年9月11日（日）13:00～15:30（開場12:20）

会　場 金沢公会堂ホール　※MAP参照

募集：300名（申込先着順）　参加費：５００円

申し込み 申込：往復ハガキ/当会ホームページから（申し込み詳細は裏面）



主催：NPO法人　野口英世よこはま顕彰会

共済：NPO法人　横浜金沢文化協会　後援：横浜市金沢区